

ミスミグループ本社 2015年3月期 第2四半期 連結業績

～ 半期決算として過去最高の売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2015年3月期 第2四半期（2014年4月1日～2014年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

（百万円）	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	82,743	98,708	+19.3%
のれん等償却前 営業利益※	10,846	13,720	+26.5%
営業利益	9,824	12,608	+28.3%
純利益	6,048	7,637	+26.3%
1株当たり純利益	66.80円	83.91円	

※2012年11月のDayton Progress CorporationおよびAnchor Lamina America, Inc.（以下北米DL社）の買収に伴うのれんおよびその他無形固定資産の償却前営業利益

<2015年3月期 第2四半期累計の連結業績ハイライト>

1. 国内市場や中国市場における自動車業界やエレクトロニクス関連業界の需要増の取り込みにより、売上高・利益ともに過去最高を更新

- 2015年3月期 第2四半期累計の売上高は987億円、前年同期比19.3%の増収となり、半期売上高として過去最高を更新しました。
- 国内経済は、消費増税の影響による生産の弱含みなどがあったものの、設備投資は増加傾向を維持し、緩やかな回復基調が継続しました。一方、世界経済は、米国は回復基調が継続している一方、中国の景気拡大テンポが緩やかになっているほか、アセアン地域で総じて足踏み状態と先行きに不透明感が高まっています。
- こうした環境下、当社グループは、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、価格だけでなく利便性の向上に努めることで顧客の潜在ニーズに 대응しています。また、海外において大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズに対応すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでいます。
- こうした結果、売上高については、自動車業界やスマートフォン関連を中心としたエレクトロニクス業界の需要増を取り込んだことにより、国内や中国において好調に推移し、全体の増加を牽引しました。
- 利益については、売上の増加や最適調達に向けた現地生産・現地調達の着実な推進などにより、営業利益は126億円（前年同期比+28.3%）、純利益は76億円（同+26.3%）となり、売上高と同様、過去最高を更新しました。

2. 全セグメントで増収

- 2015年3月期 第2四半期累計のセグメント別売上高は、以下の通り全セグメントで前年に対して増収となりました。

(百万円)	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	増減率
F A事業	39,725	48,024	+20.9%
金型部品事業	27,508	30,780	+11.9%
VONA事業	17,873	22,288	+24.7%
小計	85,107	101,092	+18.8%
調整額(期ズレ等)	▲2,364	▲2,384	—
合計	82,743	98,708	+19.3%

- 2015年3月期 第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、増減率については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で算出しています。
- 新たな流通事業として取り組んでいるVONA事業は、非効率・高コストの流通プロセスを独自のモデルで変革し、強力な基幹システムとウェブで顧客の利便性を向上させることにより、流通モデルの変革を起こすことを狙っています。
- VONA事業では、取扱いメーカー数と品揃えの拡大により、着実に売上を伸ばし、前年同期比で24.7%の増収率となりました。

3. 海外売上高比率は45.6%（前年同期比+0.6pt）に上昇

- 2015年3月期 第2四半期累計の海外売上高は450億円（同+20.9%、現地通貨ベース+12.1%）、海外売上高比率は45.6%（同+0.6pt）となりました。
- 地域別売上高は、以下の通りです。

	売上高(百万円)		増減率	
	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	円ベース	現地通貨 ベース
日本	45,503	53,676	+18.0%	—
海外	37,240	45,031	+20.9%	+12.1%
中国	10,110	13,773	+36.2%	+24.0%
アジア	11,008	12,827	+16.5%	+10.3%
アメリカ	10,837	11,415	+5.3%	-1.1%
ヨーロッパ	4,137	5,241	+26.7%	+17.4%
その他	1,146	1,773	+54.6%	+31.2%

- 国内では、自動車およびスマートフォン関連業界の需要増を取り込み、大手顧客を中心に広がる短納期・大口ニーズにも応え、想定より高い伸び率となりました。
- 海外においては、中国でEMS等の大手顧客のスマートフォン関連需要などを取り込み好調に推移した一方で、アジアでは韓国やタイの景況感の低迷、米国では自動車メーカーのリコール問題による影響などにより弱含みました。

4. 第2四半期末の配当金は20円94銭

- 当社は配当性向25%をめどに配当することを方針としています。
- 当第2四半期末の1株当たり配当金は、前回予想を4円14銭上回る20円94銭（前年比4円26銭増）とさせていただきます。
- なお、年間の合計配当金予想につきましては、今回通期業績予想を修正いたしました結果、前回予想を3円99銭上回る37円84銭（前年比5円68銭増）に修正させていただきます。
- 当社では、今後も経営環境や業績動向などを総合的に勘案し株主還元策を検討してまいります。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間合計
前回予想	16円80銭	17円05銭	33円85銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
今回修正予想	—	16円90銭	37円84銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
当期実績	20円94銭	—	—
前期実績	16円68銭	15円48銭	32円16銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2015年3月期連結業績予想を修正

- 第2四半期累計の連結業績を受け、2014年5月13日公表の通期業績予想を以下の通り上方修正いたします。
- なお、通期業績予想は、売上・利益ともに過去最高を更新する見通しです。

2015年3月期 連結業績予想（2014年4月1日～2015年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想	196,000	20,500	20,500	12,300	135.25
今回修正	200,700	23,300	22,900	13,800	151.48
増減	4,700	2,800	2,400	1,500	—
前年実績	173,904	18,989	19,168	11,678	128.82

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2015年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2015年3月期 第2四半期累計の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
経営総務室 広報・IR担当
Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7372
mail : cc@misumi.co.jp